

論 文 審 査 の 要 旨

博士の専攻分野の名称	博 士 （ 学 術 ）	氏名	金 広 哲															
学位授与の要件	学位規則第4条第1・2項該当																	
<p>論 文 題 目</p> <p>Reconstruction of phosphorus accumulation and recirculation in coastal sediment controlled by hydrological processes and human impacts, based on the sediment core information in central Seto Inland Sea, Japan （瀬戸内海中部における堆積物コア情報に基づく水文プロセス及び人間活動によってコントロールされた沿岸堆積物中のリン蓄積量の評価と蓄積機構の解明）。</p>																		
<p>論文審査担当者</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">主 査</td> <td>准教授</td> <td>小 野 寺 真 一</td> </tr> <tr> <td>審査委員</td> <td>教 授</td> <td>於 保 幸 正</td> </tr> <tr> <td>審査委員</td> <td>教 授</td> <td>福 岡 正 人</td> </tr> <tr> <td>審査委員</td> <td>教 授</td> <td>山 崎 岳</td> </tr> <tr> <td>審査委員</td> <td>准教授</td> <td>佐 藤 高 晴</td> </tr> </table>				主 査	准教授	小 野 寺 真 一	審査委員	教 授	於 保 幸 正	審査委員	教 授	福 岡 正 人	審査委員	教 授	山 崎 岳	審査委員	准教授	佐 藤 高 晴
主 査	准教授	小 野 寺 真 一																
審査委員	教 授	於 保 幸 正																
審査委員	教 授	福 岡 正 人																
審査委員	教 授	山 崎 岳																
審査委員	准教授	佐 藤 高 晴																
<p>〔論文審査の要旨〕</p> <p>論文の審査は、2014年1月10日の論文提出後、公開発表会までの間に行われた。公開発表会（公聴会）は、2014年1月24日（金）16：20～17：50に総合科学部 K305 で開催された（参加者 50 人、うち学外 8 人）。また、このあと約 30 分間（18：00～18：30）総合科学部 H109 で口頭試問が行われ、総合的に審査された。</p> <p>本論文は、瀬戸内海中央部沿岸で採取された 4 本の堆積物コア情報を克明に抽出し、沿岸堆積物におけるリンの蓄積及び再循環を定量的に復元し、これらに及ぼす水文過程及び人間活動の影響を解明したものである。従来の沿岸地域における研究成果の整理及びこの研究の目的（第 1 章）、研究試料採取及び分析方法（第 2 章）、地下水流出が堆積物リン循環に及ぼす影響についての評価（第 3 章）、気候変動の影響についての評価（第 4 章）、河口堰の建設及び都市化の影響についての評価（第 5 章）、物質収支モデルでの解析に基づく堆積物からの再循環の評価（第 6 章）、総合考察（第 7 章）、まとめ（第 8 章）という構成からなる。特に、堆積物中のリンに及ぼす地下水流出の役割や堆積物からのリン再循環の評価に関しては、物質循環学的にも沿岸海洋学的にも新規性が高い。第 4 章について査読付き論文が 1 編、第 5 章について 2 編が印刷済（筆頭著者論文、第二著者論文）であり、第 3 章及び第 6 章についても投稿準備中である。以上のように、学位取得の審査基準は十分クリアしている。</p> <p>また、審査委員会によって予備審査の際に問題として指摘した論文完成度に関してのいくつかの点、例えば、論文構成の不備、試料採取・実験方法の詳細な記載の不備、総合考察の不十分さなどが、本論文において改善されたことも確認した。</p> <p>以上、審査の結果、本論文の著者は博士（学術）の学位を授与される十分な資格があるものと認められる。</p>																		